

第1章 苫小牧市の概況

1. 苫小牧市の概況
2. 苫小牧市の住宅の概況
3. 上位関連計画
 - ・従前計画・その他の概要

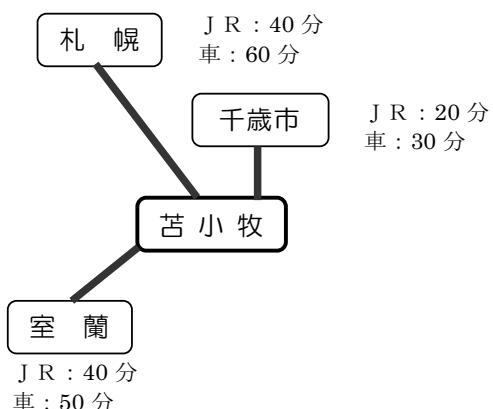
1. 苫小牧市の概況

(1) 位置と地勢

苫小牧市は、太平洋と樽前山の恵みを受け、野鳥の聖域であるウトナイ湖に癒される縁豊かなまちです。また、南北を山と海に挟まれており、東西方向に長く市街地が形成されています。東部は港湾とその背後地の工業地域、西部は早くから住宅地として整備された都市構造となっています。

苫小牧市はこれまで製紙工場の立地や国内初の内陸堀込港の建設を契機として着実に発展を続け、北海道経済を牽引する産業の拠点都市として発展しています。

◆苫小牧市までの所要時間

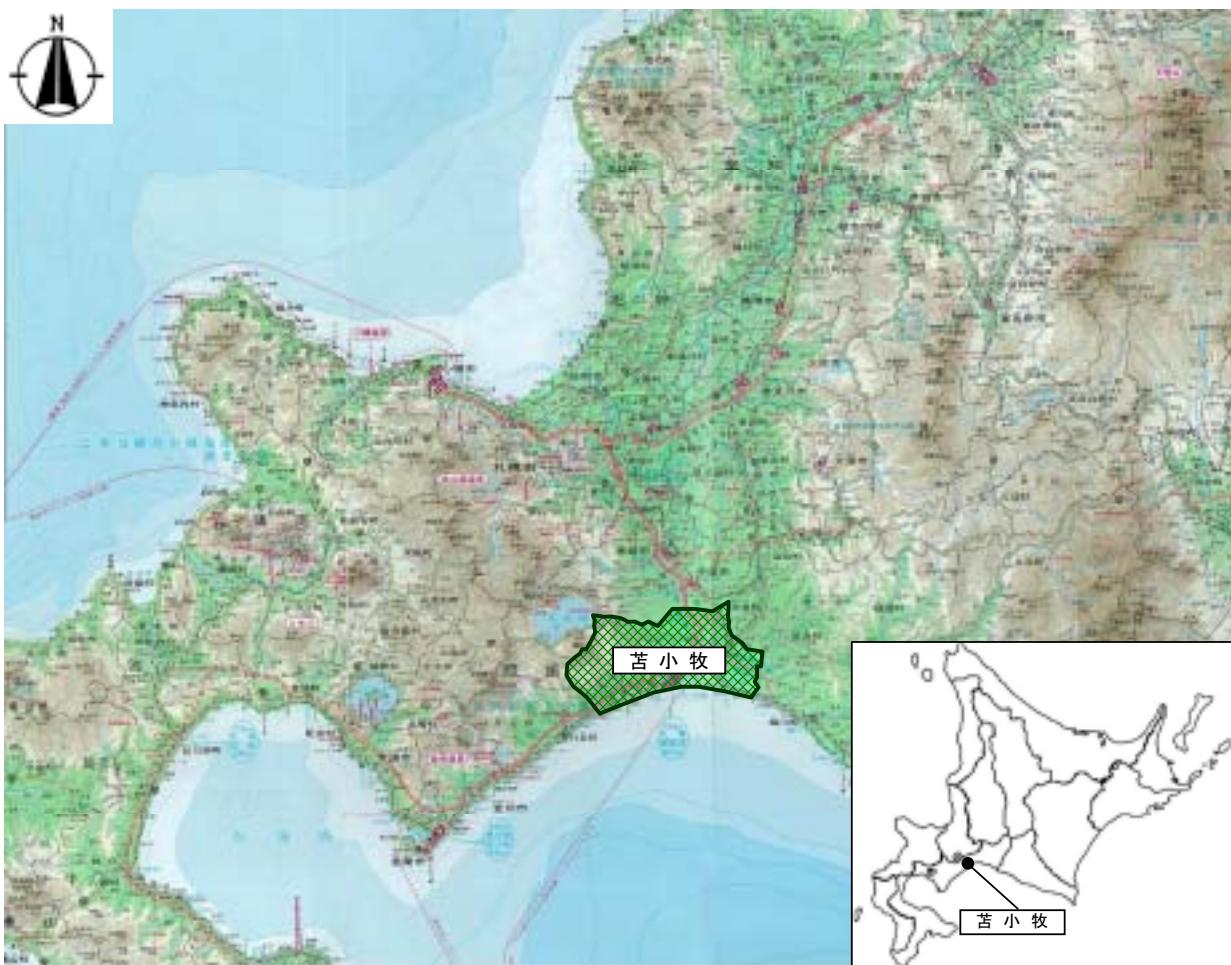


◆苫小牧市の広ぼう

面 積	東 西	南 北
561.61Km ²	39.9Km	23.6Km

◆苫小牧市の位置

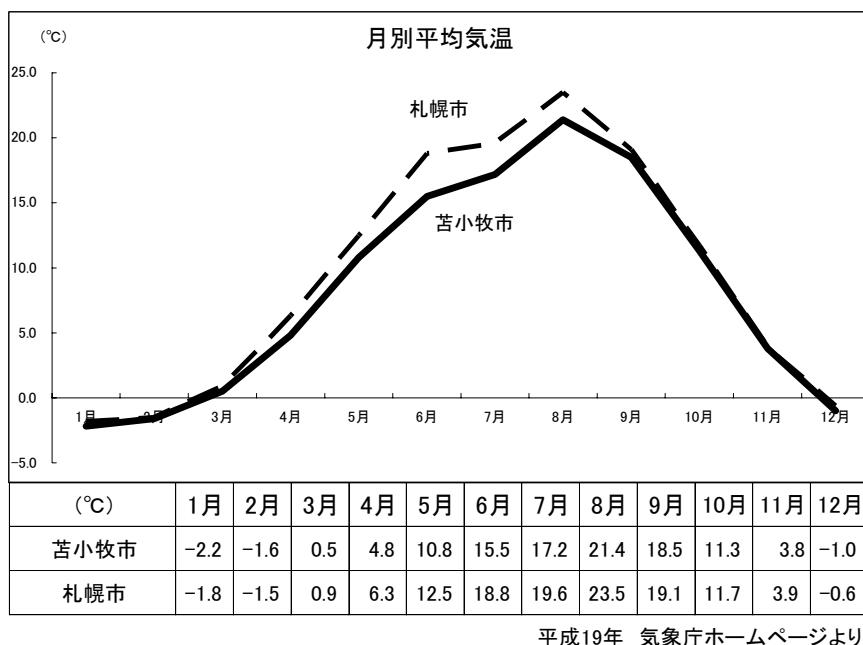
東 経	北 緯
141° 36' 34"	42° 37' 53"



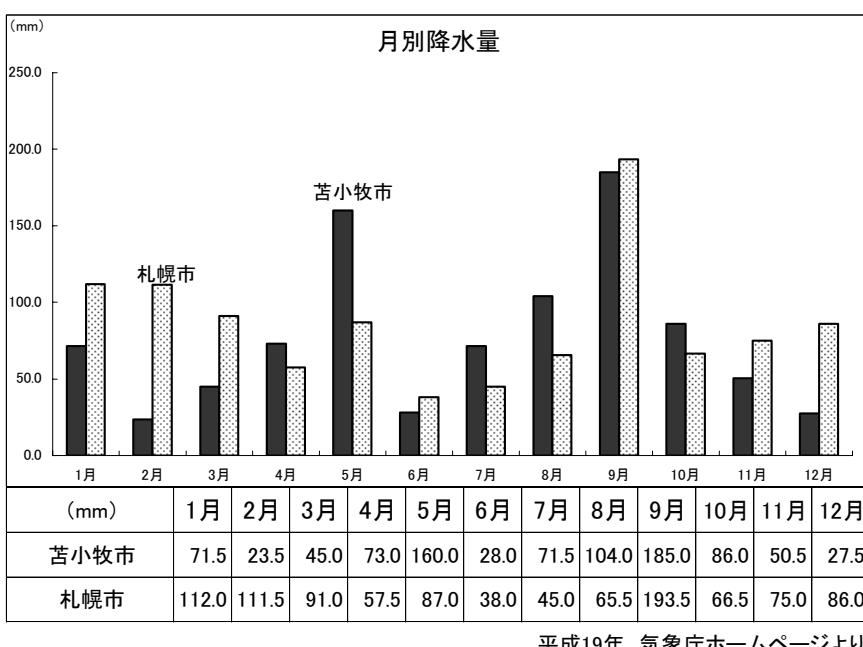
(2) 気候

- ・苫小牧市の気候は太平洋側西部気候に属し、温暖で冬季は降雪が少なく、晴れの日が多い特性があります。
- ・平均気温は札幌市よりやや低い状態で推移しています。(最高:8月 21.4°C／最低:1月-2.2°C)
- ・降水量は9月が最も多く、185.0mmとなっています。
- ・最深積雪量は札幌市より少ない状態です。

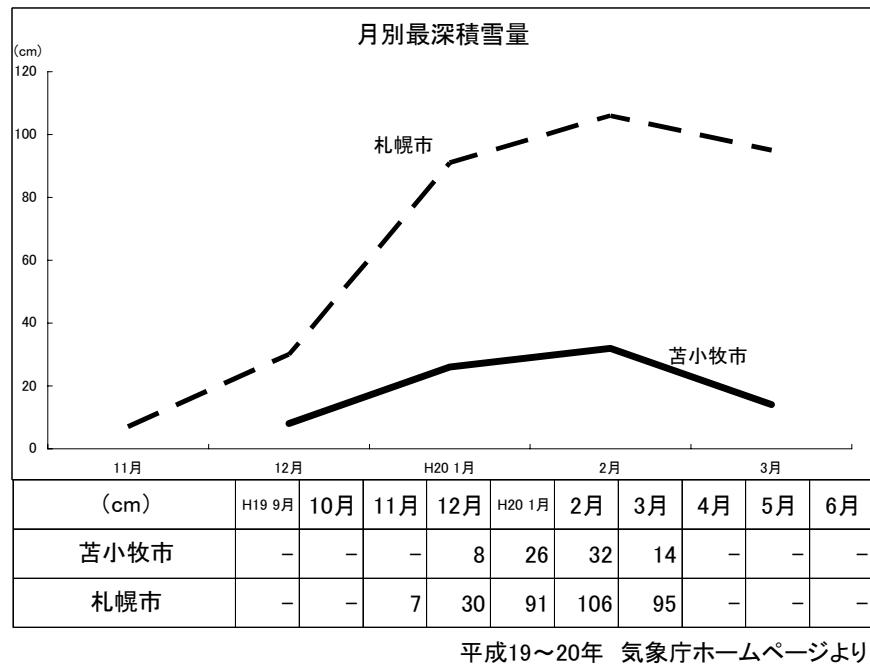
① 月別平均気温



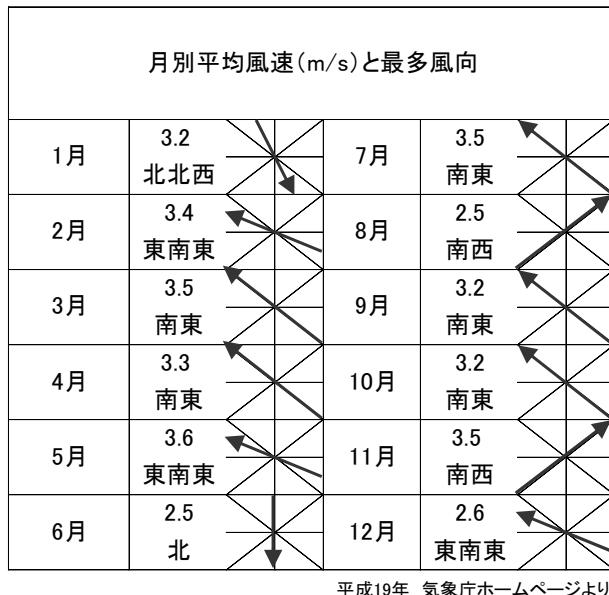
② 月別降水量



③ 月別最深積雪量

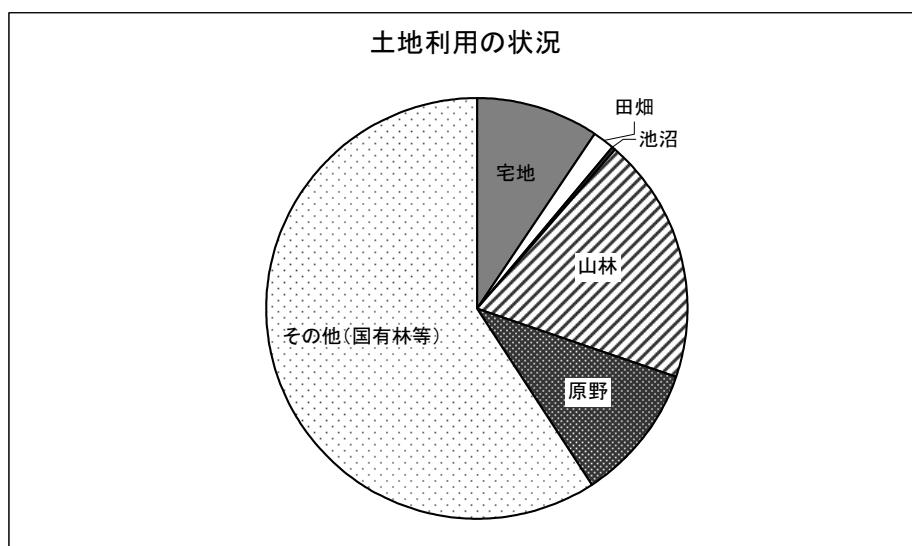


④ 月別最多風向と平均風速



(3) 土地利用の状況

・その他（国有林等）の占める割合が59.1%と最も多く、次いで山林18.7%となっています。



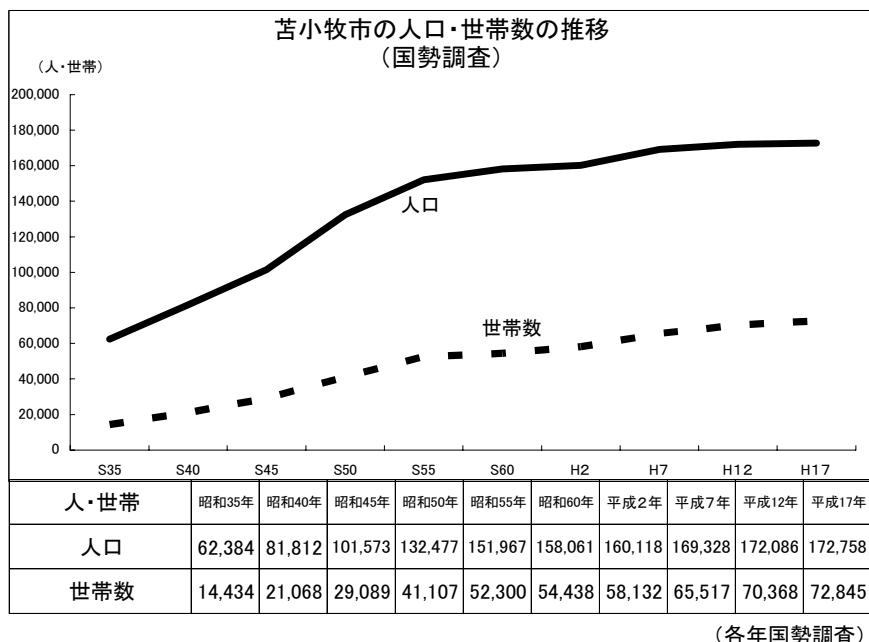
資料：市資産税課（平成19年1月1日現在）

(4) 人口構造

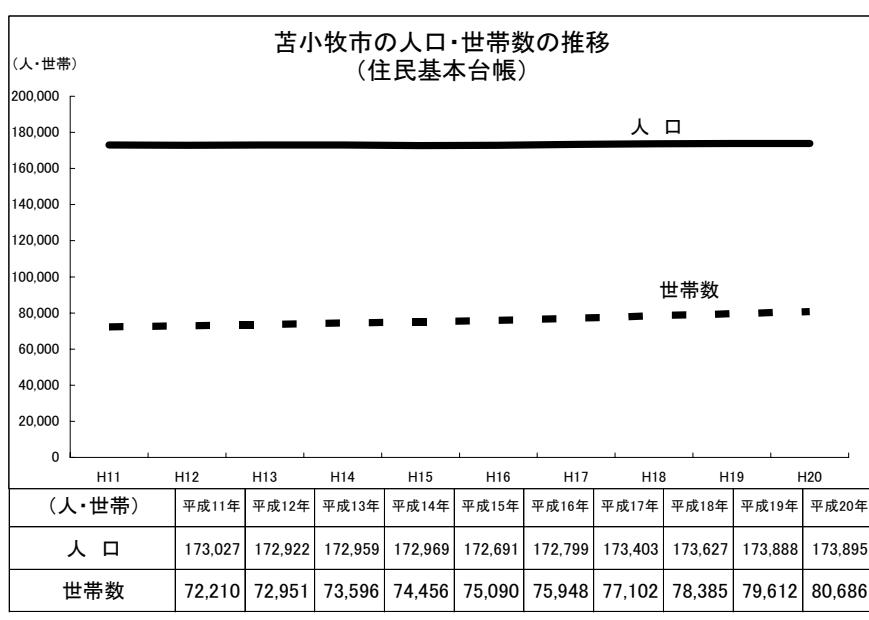
① 人口・世帯数の推移

- ・人口……173,895人（平成20年住民基本台帳）
- ・世帯数…80,686世帯（平成20年住民基本台帳）
- ・国勢調査による推移をみると、人口は平成12年までは増加傾向にあります。平成12年から平成17年にかけては、ほぼ横這い状態にあります。世帯数は微増傾向にあります。
- ・住民基本台帳による近10年程度の推移をみると、人口・世帯数ともにほぼ横這い状態にあります。

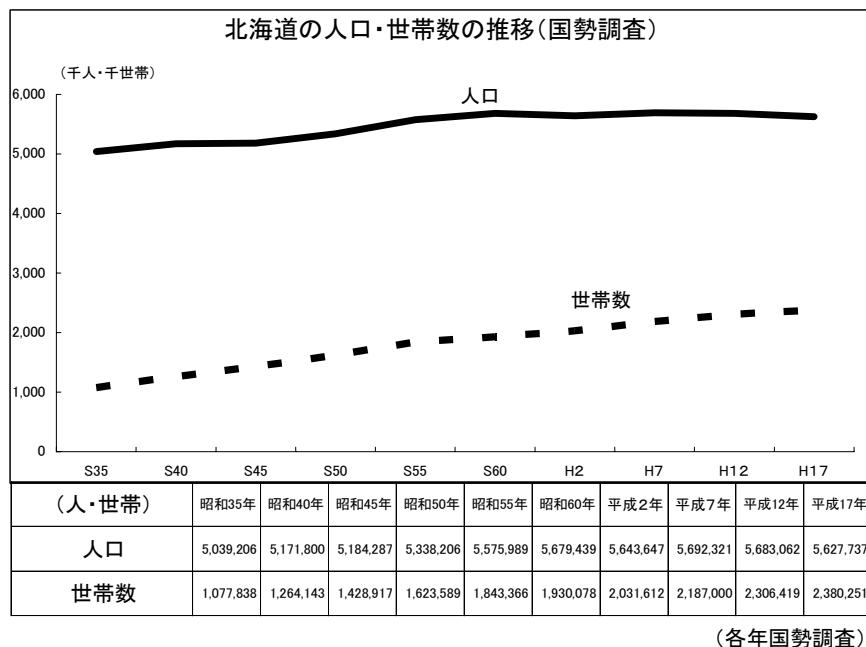
1) 苫小牧市の人団・世帯数の推移（国勢調査）



2) 苫小牧市の人団・世帯数の推移（住民基本台帳）



3) 北海道の人口・世帯数の推移（国勢調査）



② 地区別人口の推移

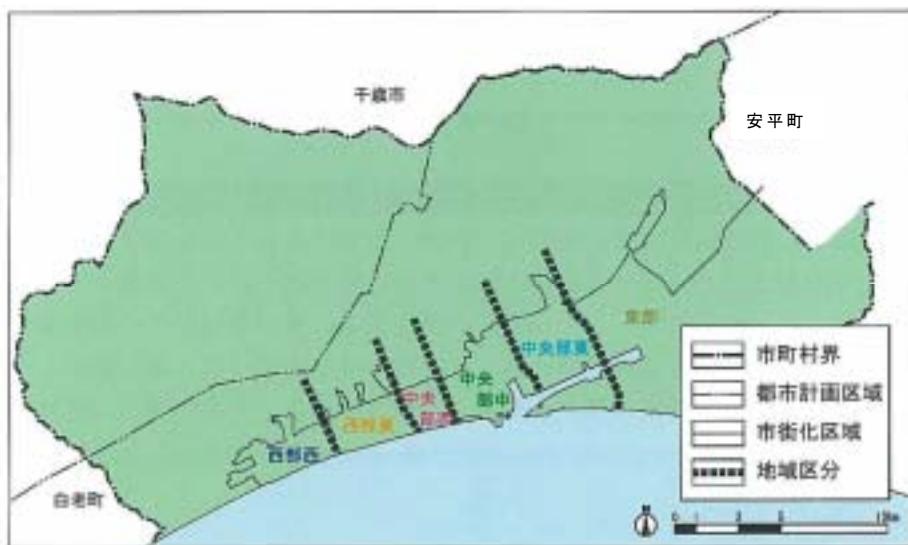
本計画では、都市計画マスタープラン（平成 16 年 9 月策定）を踏襲し、西部西地域、西部東地域、中央西地域、中央部中央地域、中央東地域、東部地域の 6 地区とします。

各地域の構成は以下に示すとおりです。

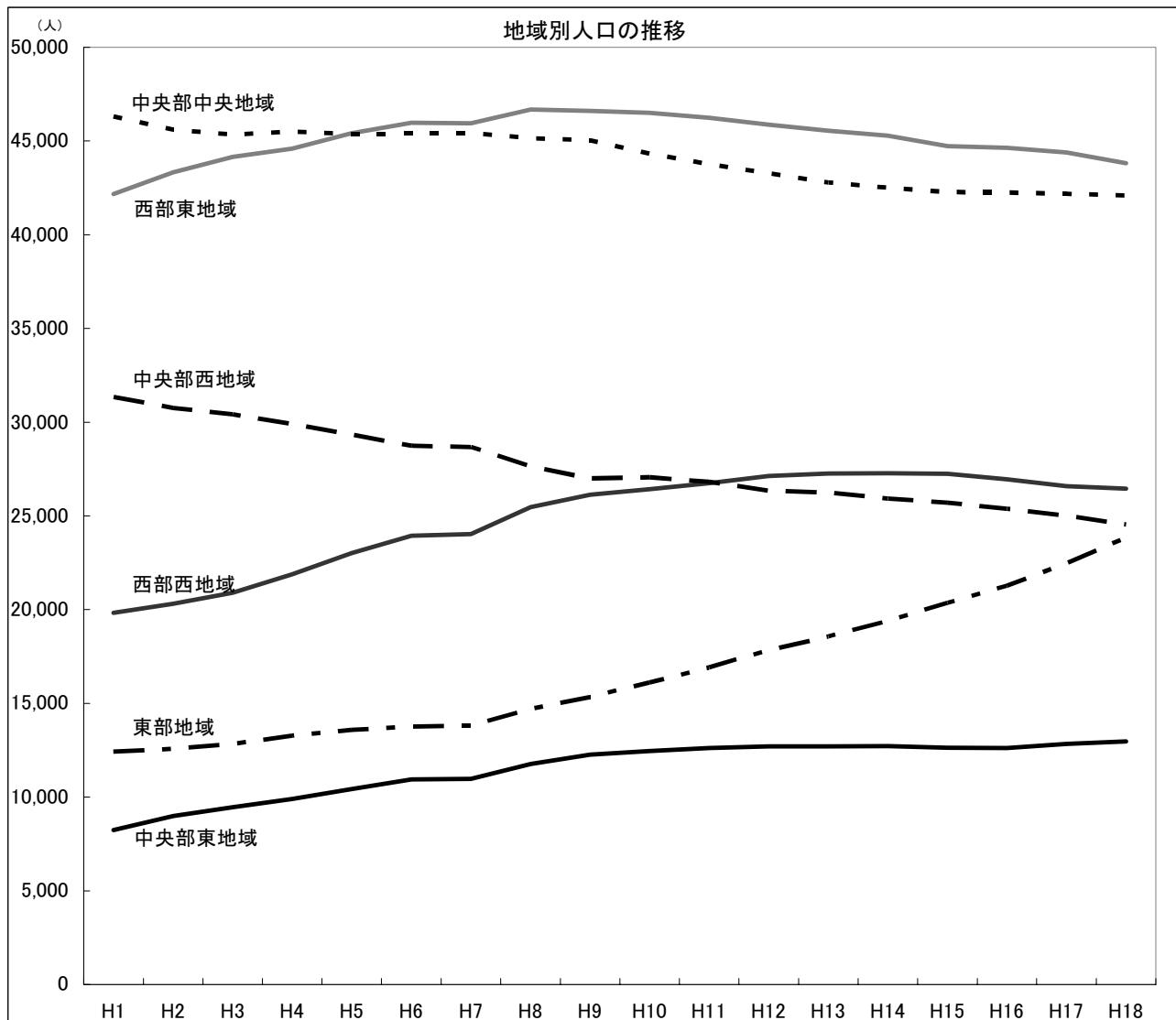
◆ 各地区の構成

- ・ 西部西地域：小糸魚川以西の地域
- ・ 西部東地域：小糸魚川から苦小牧川の間の地域
- ・ 中央西地域：苦小牧川から製紙工場の間の地域
- ・ 中央部中央地域：苦小牧市の都心部の地域
- ・ 中央部東地域：幌内川から明野川の間の地域
- ・ 東部地域：明野川以東の地域

◆ 地域区分図（都市計画マスタープランより）



- ・西部西地域…平成 14 年の 27,265 人をピークに年々減少傾向にあります。
- ・西部東地域…平成 8 年の 46,689 人をピークに年々減少傾向にあります。
- ・中央部西地域、中央部中央地域…平成 1 年より既に年々減少傾向にあります。
- ・中央部東地域…年々増加傾向にあります。平成 1 年～平成 18 年にかけて、約 1.6 倍増加しています。
- ・東部地域…年々増加傾向にあります。平成 1 年～平成 18 年にかけて約 1.9 倍増加しています。

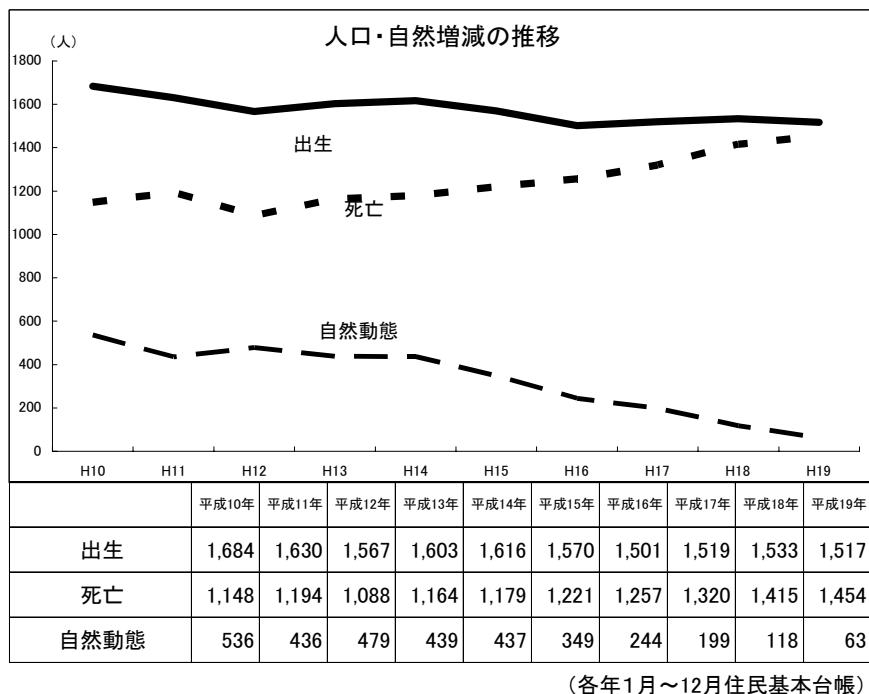


出典：市企画課

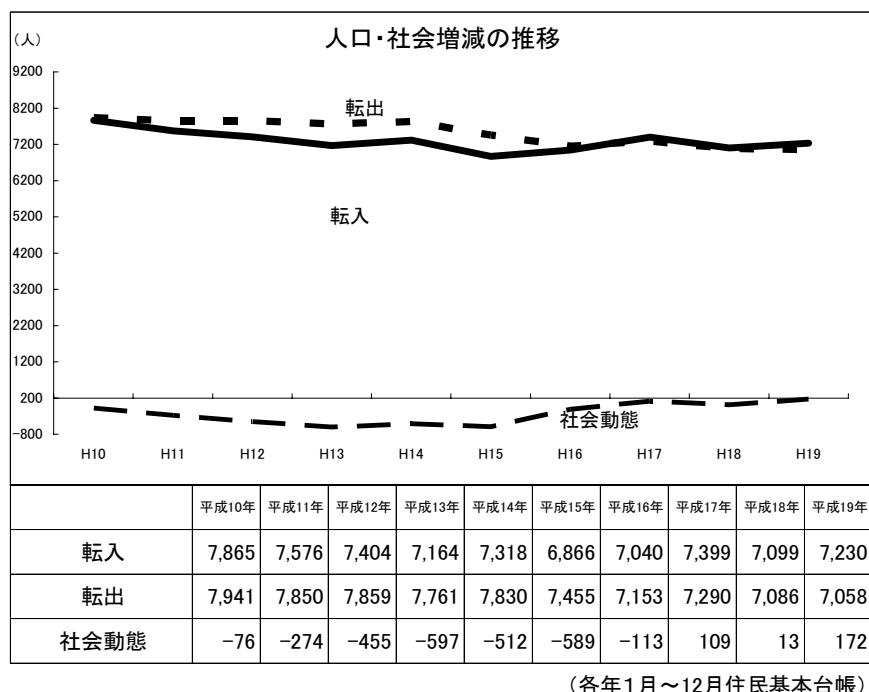
③ 人口動態の推移

- ・自然動態については、出生数が死亡数より上回る自然増となっています。
- ・社会動態については、平成10年から平成16年においては転出数が転入数を上回る社会減となっていますが、平成17年から平成19年においては転入数が転出数より上回る社会増となっています。

1) 自然動態の推移



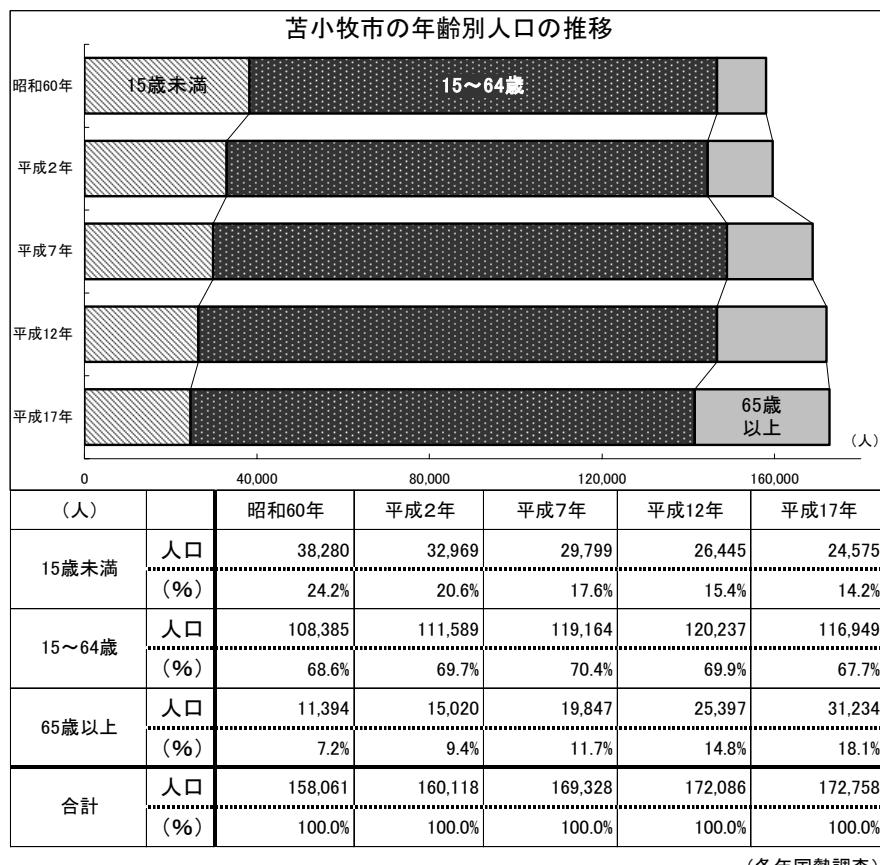
2) 社会動態の推移



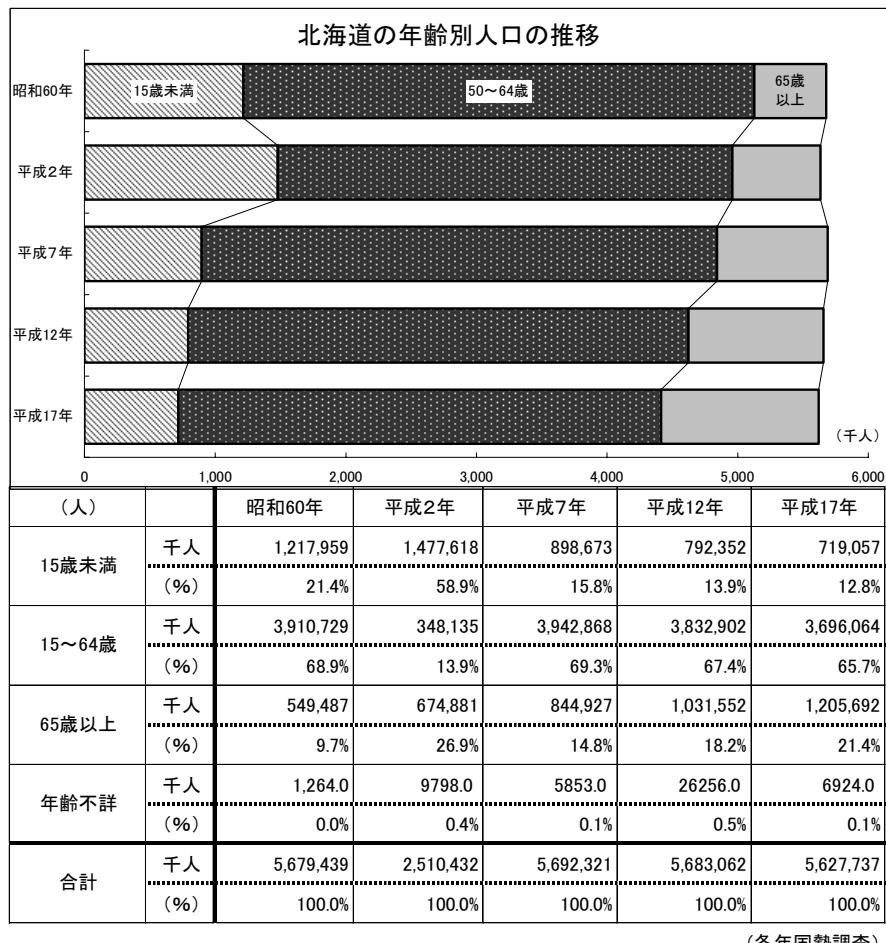
④ 年齢構造

- ・15歳未満の人口は減少傾向にあります。北海道の構成比 12.8%より上回っていますが、少子化が進行しています。
- ・15~64歳の人口はほぼ横這い状態で推移しています。
- ・65歳以上の人口は増加傾向にあります。昭和60年から平成17年にかけて約2.5倍増加しています。北海道の構成比 21.4%より下回っていますが、高齢化は進行しています。

1) 苫小牧市の年齢別人口の推移（国勢調査）



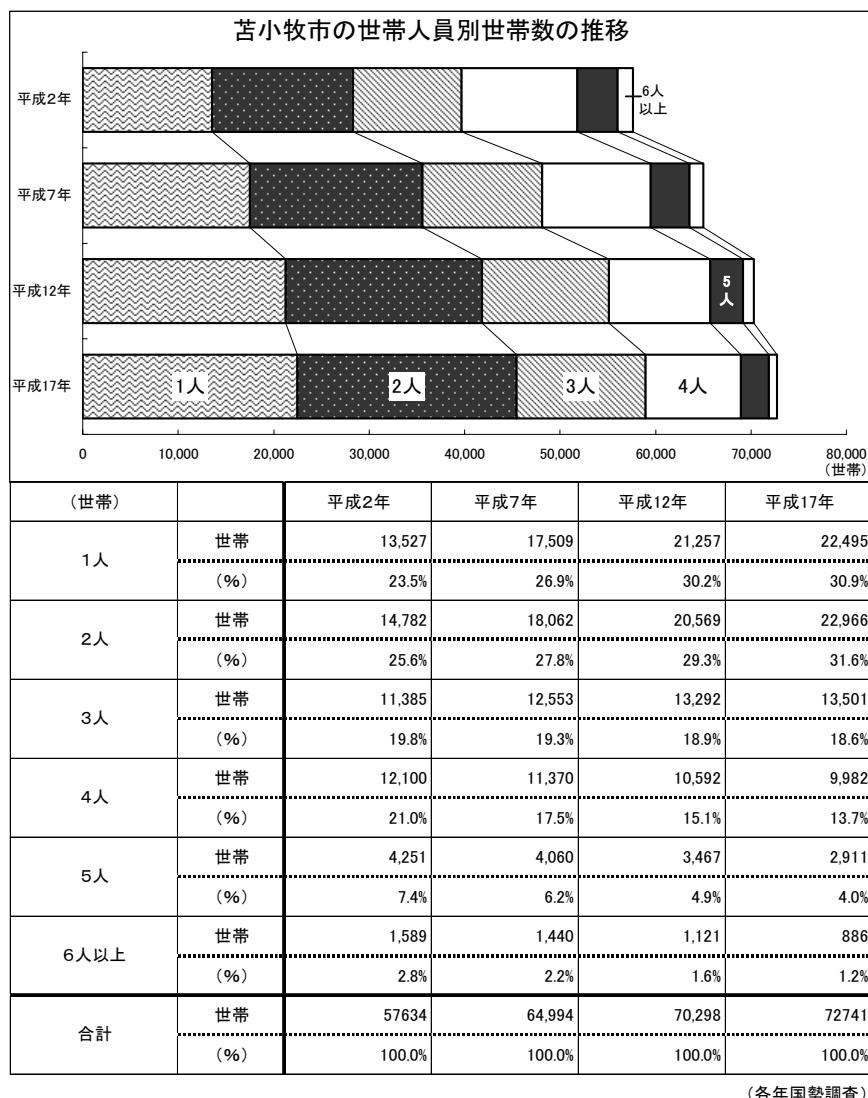
2) 北海道の年齢別人口の推移（国勢調査）



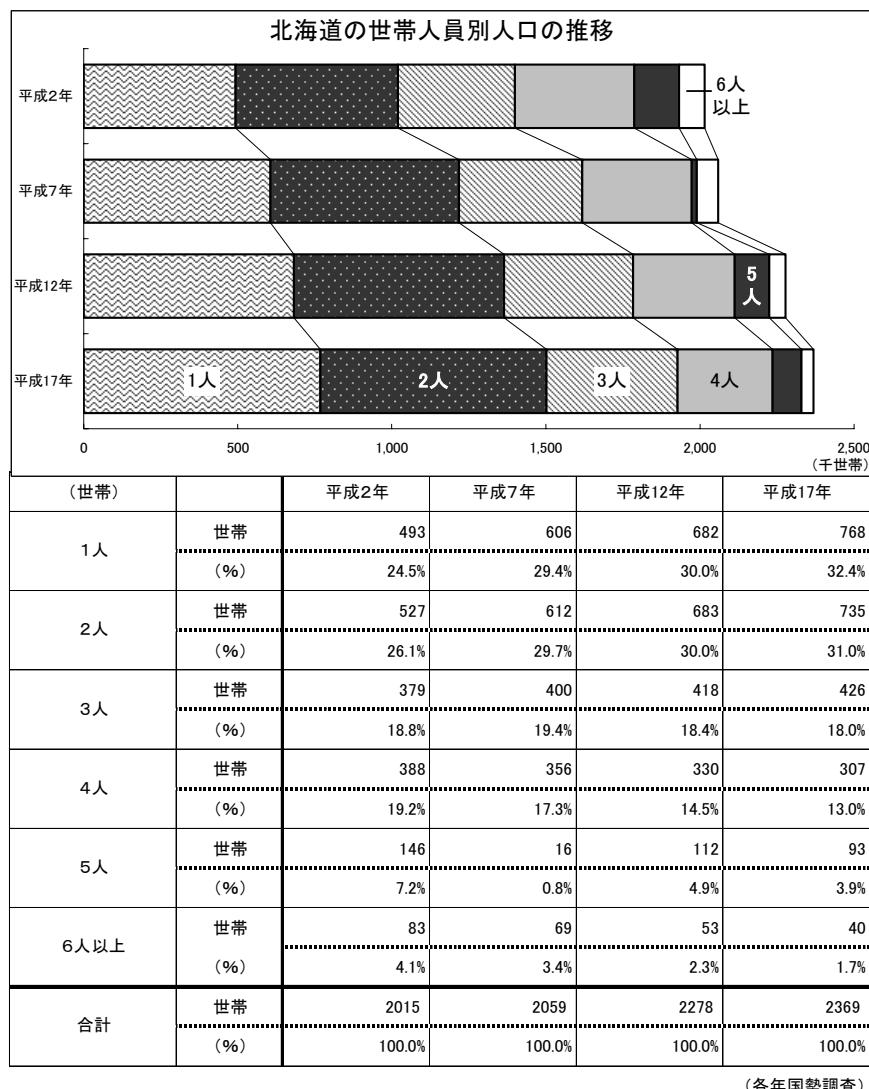
⑤ 世帯人員構成

- ・1人世帯、2人世帯は増加傾向にあります。平成17年は約6割が1人から2人世帯となっています。
- ・3人世帯はほぼ横這い状態で推移しています。
- ・4人以上の世帯は、減少傾向にあり、小規模世帯化が進行しています。

1) 苫小牧市の世帯人員別人口の推移（国勢調査）



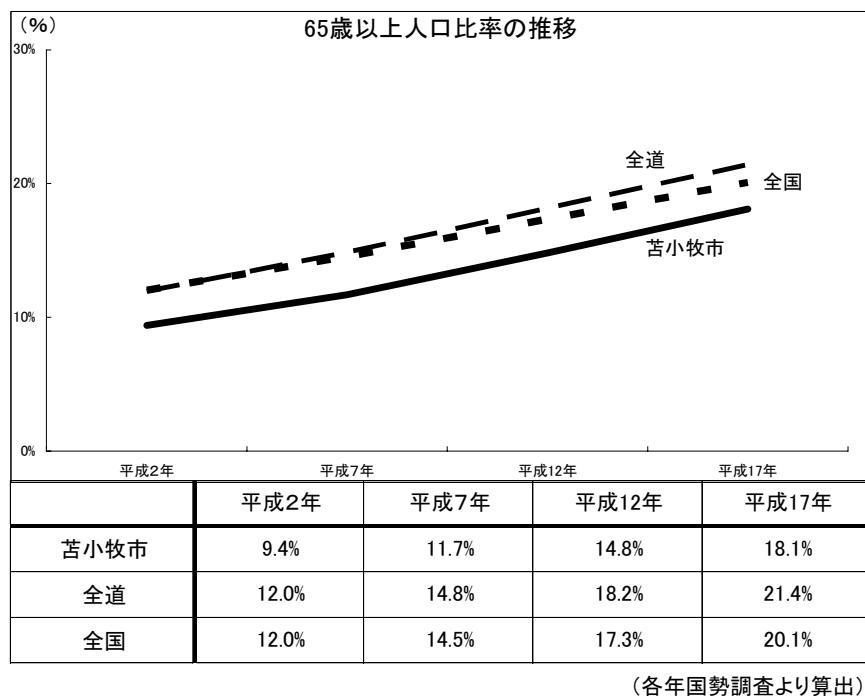
2) 北海道の世帯人員別人口の推移（国勢調査）



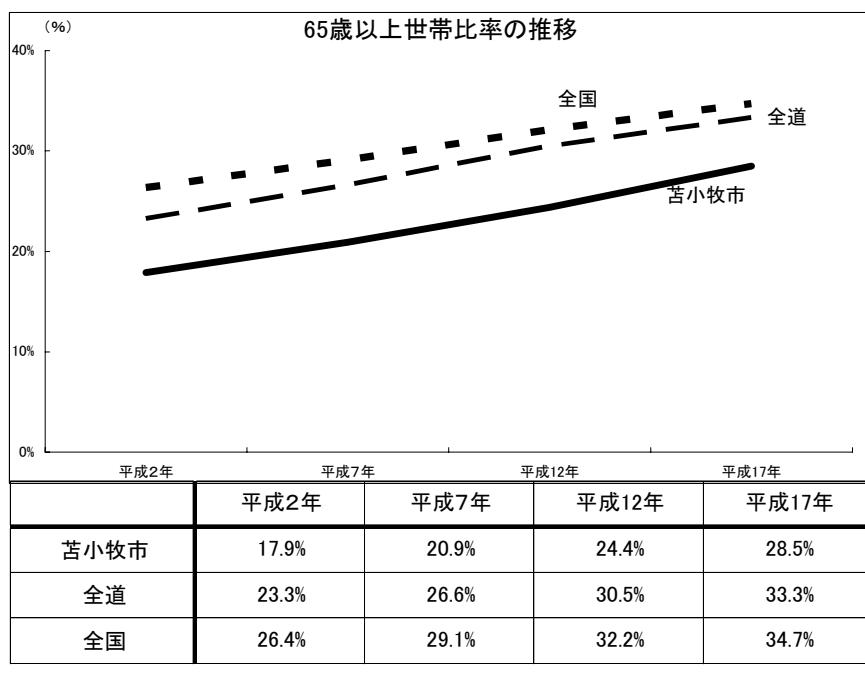
(5) 高齢者の状況

- ・高齢者人口、世帯比率は全道・全国比率よりも低い比率となっていますが、高齢化は進行しています。
- ・高齢者人口の比率については、平成2年（9.4%）から平成17年（18.1%）の間で約2倍となっています。

① 65歳以上人口比率の推移（国勢調査）



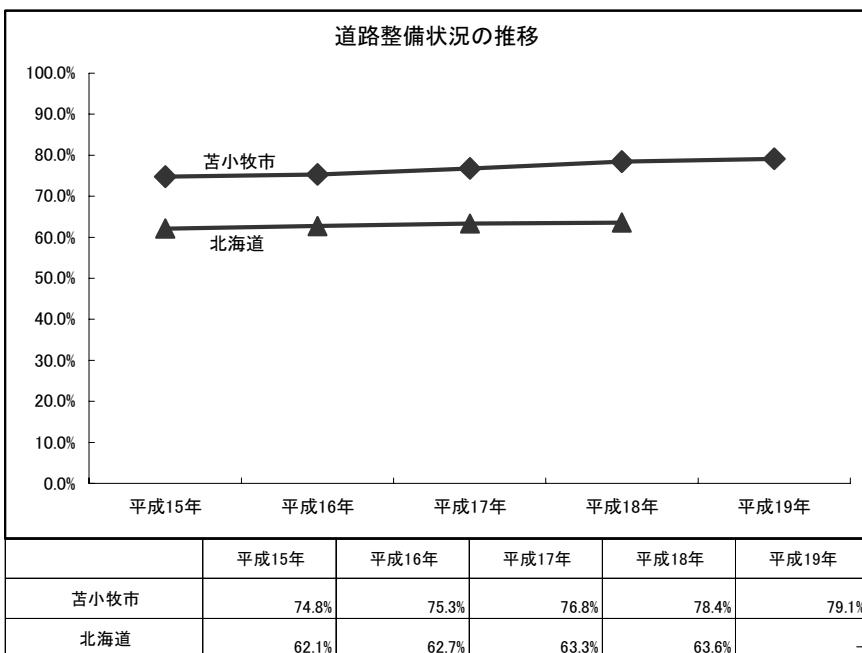
② 65歳以上世帯比率の推移（国勢調査）



(6) 都市基盤状況

- ・道路整備状況は、苫小牧市では70%代、全道では約60%代で推移しています。
- ・下水道普及状況は、苫小牧市では約98%とほぼ普及している状態で、全道では80%代を推移しています。
- ・水洗化の状況は、苫小牧市では約99%で推移しており、全道では80%台を推移しています。
- ・道路整備状況、下水道普及状況及び水洗化状況について、全道の比率よりも上回っており、都市基盤整備が進んでいることが読み取れます。

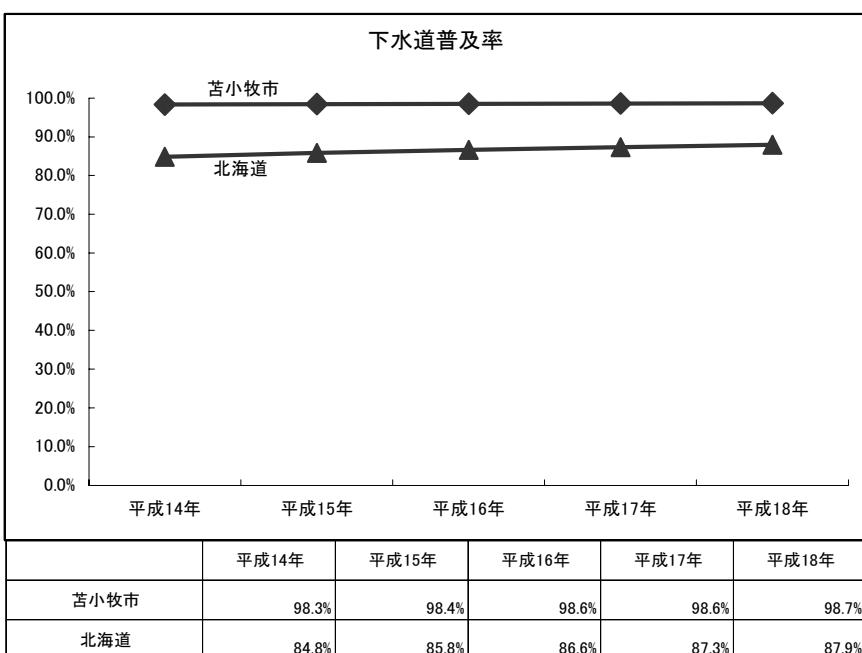
① 道路整備状況



資料:

- ・苫小牧市…市開発管理課
(各年3月31日現在)
一般国道・道道・市道を合計した数値
より算出
- ・北海道…統計でみる北海道のすがた
(各年4月1日現在)
平成19年の数値は掲載なし

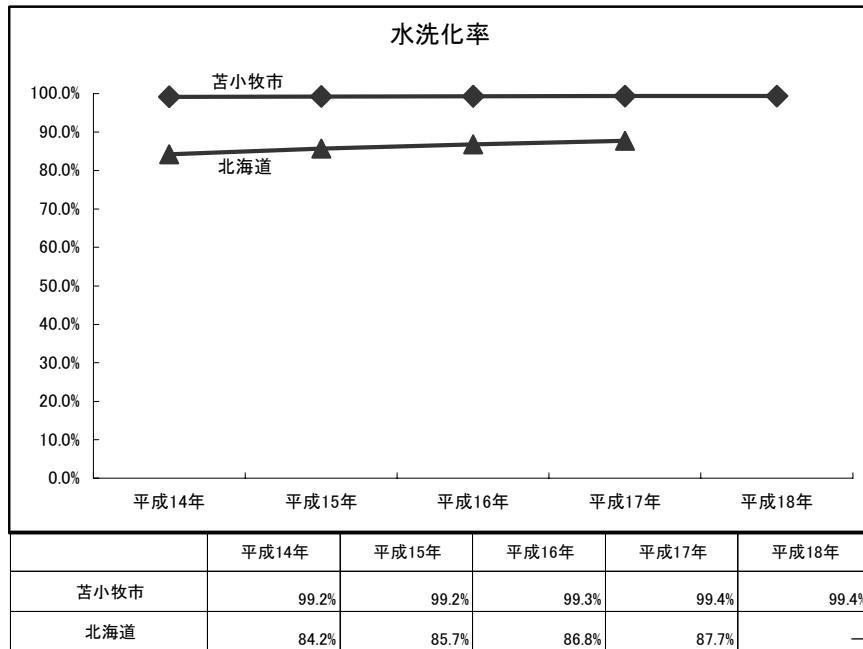
② 下水道普及率の推移



※下水道普及率(%) = 下水道処理区域
内人口 / 行政区域内人口より算出

- ・苫小牧市…市上下水道部下水道計画課
- ・北海道…統計でみる北海道のすがた

③水洗化率の推移



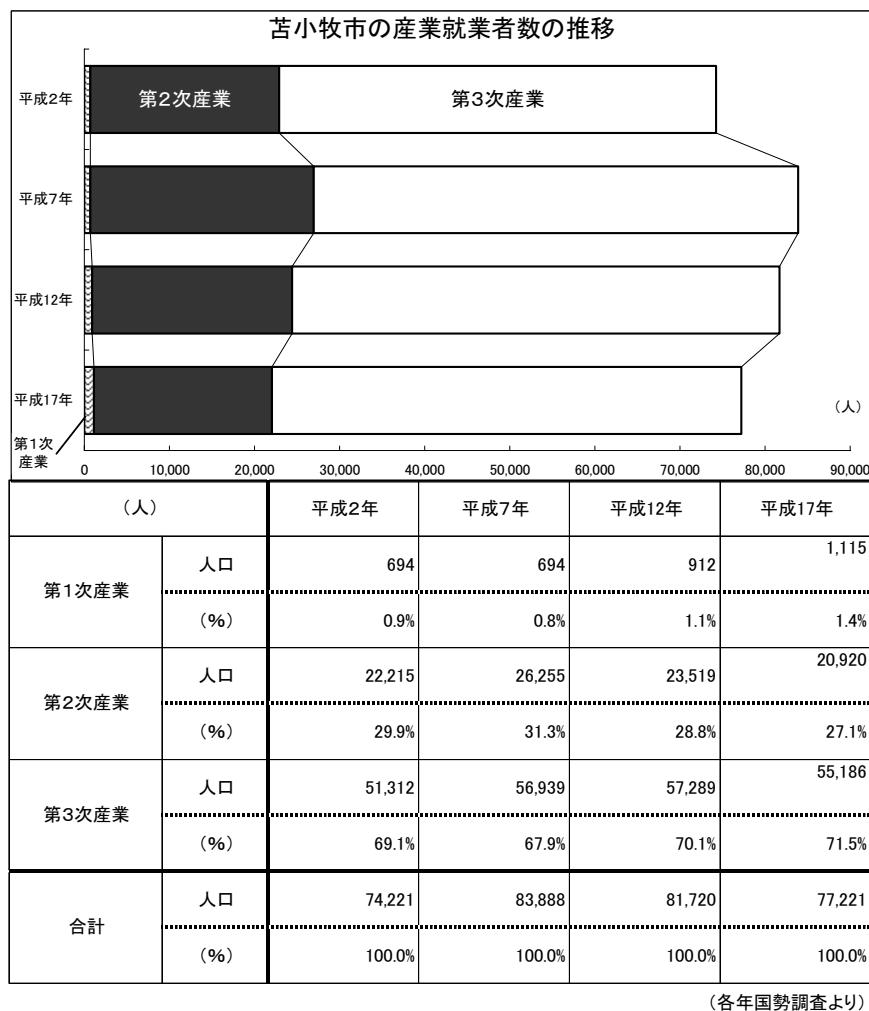
資料:

- ・苫小牧市: 市上下水道部総務課
水洗設置戸数／水洗可能区域内全戸数
より算出
- ・北海道: 第115回(平成20年)北海道統
計書
各年9月30日現在の住民基本台帳の人口
に対する水洗化人口の割合より算出

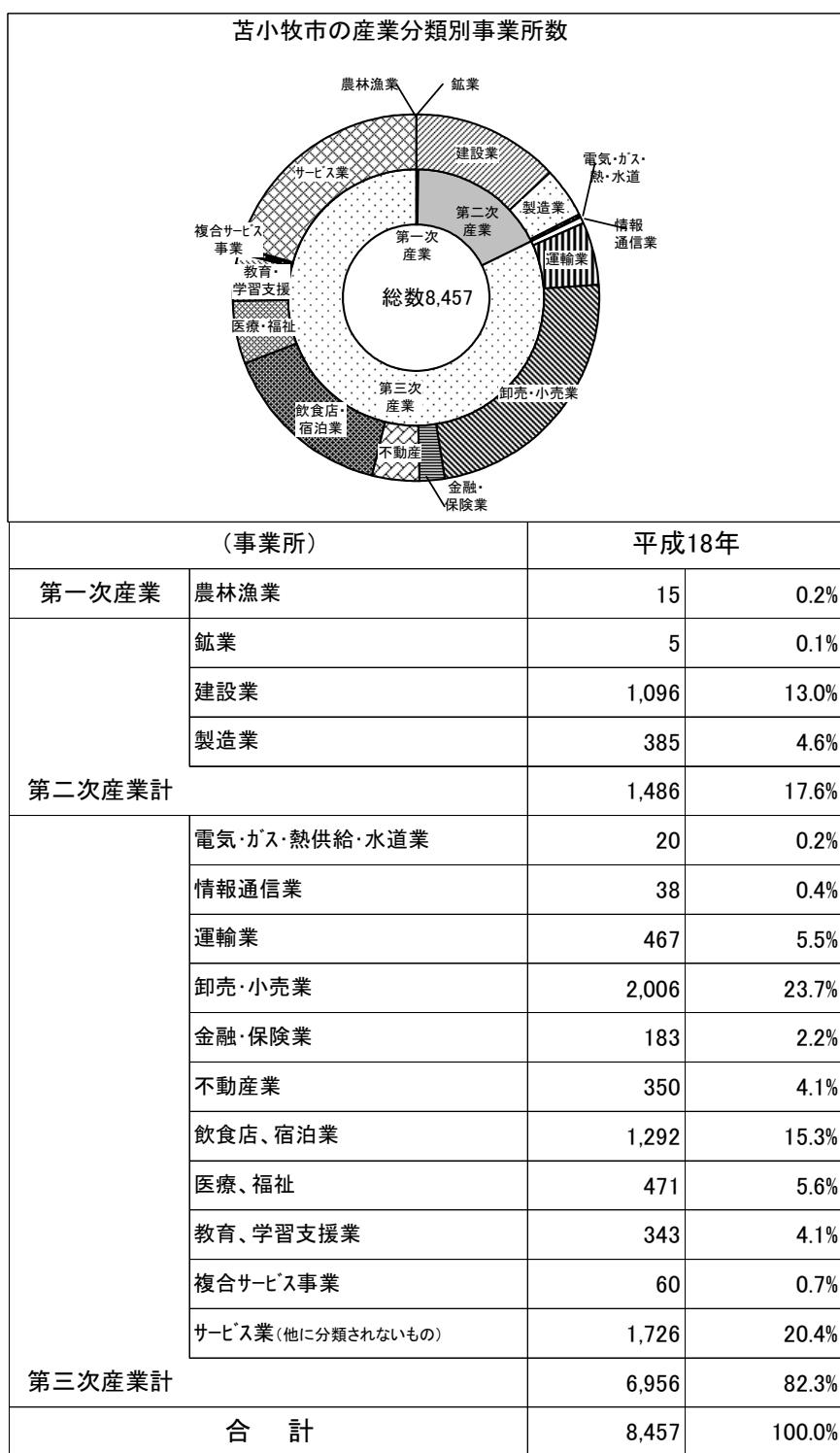
(7) 産業構造

- ・第1次産業比率は微増傾向にあり、第2次産業比率は微減傾向にあります。第3次産業比率は微増傾向にあります。
- ・事業所数は平成18年では8,457事業所となっています。第1次産業は15事業所、第2次産業は1,486事業所、第3次産業は6,956事業所となっています。

① 苫小牧市の産業別就業者数の推移（国勢調査）



② 産業分類別事業所数（事業所・企業統計調査）



(平成18年 事業所・企業統計調査)